

【令和7年度豊明市eモニター】街路樹に関するアンケート

アンケート期間	2025年9月1日～2025年9月15日
回答数	195

街路樹は、沿道の景観を向上させるとともに、新緑・紅葉など街並みに彩りと季節感を与える、市民にみなさまにとって最も身近な緑です。しかし豊明市では植栽後50年以上を経過するものが増え、その一部は老木や大木となり、維持管理の面で様々な課題を抱えています。

このアンケートは、街路樹について日頃感じていることをおたずねし、今後の街路樹行政の参考とさせていただきますものです。

問1 街路樹には高さが3メートル以上となる高木と、高さが1メートル未満の低木があります。
あなたのお住まいは、街路樹（高木）のある道路に面していますか。

1.面している	14	7.2 %
2.面していないが近くにある	77	39.5 %
3.面していないし、近くにもない	104	53.3 %
計	195	100.0 %

問2 本市では日頃、低木の刈込、高木のせん定及び除草などの維持管理を行っています。
あなたは、本市の街路樹の維持管理について、満足していますか。

1.満足している	30	15.4 %
2.どちらかといえば満足している	93	47.7 %
3.どちらかといえば満足していない	44	22.6 %
4.満足していない	28	14.4 %
計	195	100.0 %

問2で3.どちらかといえば満足していない、または4.満足していないを選択した方にお聞きます。
あなたが、本市の街路樹の維持管理について、不満に思うことは何ですか。（複数選択可）

1.高木のせん定が不十分	20	27.8 %
2.低木の刈込が不十分	23	31.9 %
3.雑草が目立つ	44	61.1 %
4.植樹帯などにゴミが目立つ	24	33.3 %
5.害虫が発生したときすぐに対処してくれない	0	0.0 %
6.落ち葉の清掃が不十分	16	22.2 %
7.高木の根元の盛り上がりにより舗装に段差やひび割れが生じている	22	30.6 %
8.植樹帯に樹木がなくなったまま放置されている	10	13.9 %
9.高木の幹が太くなりすぎて歩道が狭くなっている	6	8.3 %
10.高木の幹や根元から出ている	4	5.6 %
11.枝の処理が不十分	8	11.1 %
12.特にない	3	4.2 %
13.その他	7	9.7 %
回答人数	72	

その他入力欄

- 樹木の寿命維持害虫対策、苔対応
- 高木の根が排水溝等を塞いでいるケースがある。町内の排水溝の掃除をした際に、根が原因で詰まっている箇所があった。また、道路側は車の接触で傷がつかない高さ、歩道側は人に当たらない高さに定期的に剪定すべきだと思う。
- 剪定の頻度が不十分
- 剪定が荒く緑が減少している
- 高木の葉で街灯の光が遮られて道路(歩道含む)が暗い
- 57号線の沓掛辺りがいつも雑草がひどく歩道が通れないことがある。子供が自転車で通れずに車道側を通ったと聞いてとても恐ろしく思いました。
- いつも気になるのが池下の信号の雑草？枝もあるので車で右折する時に傷つきそうで困っています。市役所側から走行して、1号線にでる車線です。

問3 本市では、街路樹（高木）の種類ごとの特性に合わせて、必要に応じてせん定を行っていますが、秋に紅葉を経て落葉する樹木のせん定時期について、市民のみなさまから、通気性や日当たり・落ち葉清掃の観点から早くすべきという声と、日差しの緩和や紅葉を楽しみたいという観点から遅くすべきという声をいただいています。紅葉する街路樹（高木）について、せん定する時期はいつが良いと思いますか。

1.落葉前が良い	56	28.7 %
2.落葉後が良い	88	45.1 %
3.わからない	51	26.2 %
計	195	100.0 %

問4 街路樹のせん定を、木の種類に応じて標準的な頻度（1～3年に1回）を定めて実施しています。現在のせん定頻度が適切だと思いますか。

1.多いと思う	1	0.5 %
2.適切だと思う	114	58.5 %
3.少ないと思う	47	24.1 %
4.せん定する必要はない	3	1.5 %
5.わからない	30	15.4 %
計	195	100.0 %

問5 市内の一部で、道路空間に対して大きくなりすぎた樹木について、樹木の高さを下げる強せん定を行うことで、枯れ枝の落下の危険性を低減させるとともに、落ち葉・越境枝による通行への支障を解消する作業を実施しています。一方で、大きく育った樹木が小さくなることで、景観が変わってしまうという見方もあります。

強せん定を進めた方が良いと思いますか。

1.進めた方が良い	84	43.1 %
2.どちらかといえば 進めた方が良い	77	39.5 %
3.どちらかといえば 進めない方が良い	19	9.7 %
4.進めない方が良い	4	2.1 %
5.わからない	11	5.6 %
計	195	100.0 %

問6 歩道の通行に必要な道幅が確保できないなど現行の法令等に適合していない街路樹（高木）は撤去していますが、「全部撤去して寂しい」、「日陰が無くなる」等のご意見もいただいています。
歩道の通行に必要な道幅が確保できない、視距が悪くなり安全性に問題がある等の街路樹（高木）の撤去に関して、どのように感じますか。

1.安全が第一なので、積極的に進めて欲しい	72	36.9 %
2.残念だが、安全のためなら仕方ない	96	49.2 %
3.できることなら残して欲しい	22	11.3 %
4.わからない	5	2.6 %
計	195	100.0 %

問7 枯れたなどの理由で撤去後、一時的に根元（切り株）だけ残すことがありますが、不都合に思うことや不満に思うことはありますか。

1.ある	41	21.0 %
2.特にない	154	79.0 %
計	195	100.0 %

問7で1.あると答えた方にお聞きます。

どのようなところで不都合、不満に思いますか。（複数選択可）

1.通行に支障となる	24	58.5 %
2.ごみ等が捨てられる	8	19.5 %
3.見栄えが悪い	24	58.5 %
4.腐って危ない	14	34.1 %
回答人数	41	

問8 市道桜ヶ丘沓掛線（通称けやき通り）の街路樹管理について

市道桜ヶ丘沓掛線（前後駅～二村台区間）は現在、高木のケヤキ並木が整備されてから50年以上経過し、大木や老木の根上がりによる歩道の舗装が凸凹の頻発等維持管理の面で様々な課題を抱えています。

また、現在は主に樹形を整える透かしせん定で管理していますが、秋に紅葉を経て落葉するため、落ち葉清掃の観点から街路樹の撤去の要望を多数いただいています。

今後のケヤキ並木のあり方について、どのように考えますか。

1.沿道環境や、通行上街路樹は全部撤去したほうがよい	17	8.7 %
2.交通安全上支障となる部分のみ撤去したほうがよい	72	36.9 %
3.大木、老木を撤去し、道路改良を行うことがあった場合に植替えを行ったほうがよい	58	29.7 %
4.並木として連続性を残しつつ、本数を減らしたほうがよい	11	5.6 %
5.今のままでよい（枯れたもの以外はできるだけ残してほしい）	37	19.0 %
6.その他	0	0.0 %
計	195	100.0 %

その他入力欄

なし

問9 街路樹に関してご意見等がありましたらご記入ください。（自由記述）

●管理の大変さはありますが、緑を大切に思うので、適度に残して欲しいです。また伐採になり新たに植えるときは是非地元の小学校の活動などで子どもたちに経験して大切にもらいたいと思います。

●落ち葉の清掃は市民が自主的に行うべき、と考えるような市民でありたいと思う。ごく一部の不満を聞いて豊かな緑を失っては、名古屋郊外のベッドタウンである豊明市の長所を失うことになる。行政の慎重かつ賢明な施策判断を市民として願う。

●剪定も必要ですが樹木の健康管理が来ていますか？樹木の健康管理はどのような事を行っていますか？

●街路樹があった方が景観が良くなると思いますが、それに相応しい道があまり無いと思います

街路樹の他にも歩道の半分ぐらいが雑草になっている場所があり、歩道が通り難くなっている所がたくさんあります
県道220号線の紫雲殿から沓中方面に行く歩道等 どうにかありませんか

●けやき通りを日常的に通行しています。その景観が大好きな一方で、落葉など近隣の方の負担も感じ、また、市としての維持管理も費用、人員の面でますます負担が大きくなっているのだろうとも感じています。

他の樹木に植え替えする事で、維持管理が少しでも容易になる方法があれば、やはり並木道の存在は残して欲しいと思います。

●けやき通りは幼い頃から何度も通った思い出の道路ではあるが、根上がりについては長年思うところがあった。あのこぼこの坂道を藤田の学生なり中学生なり自転車で通行する者も多く、また、まあまあな勾配であることも考慮すると景観がどうかより市民の安全を重視して良いと思う。

●樹木が伸びている部分で、車がすれ違う際、注目部分に対向車が避けるため、はみ出してくるとすれ違いが困難な道路が豊明市内でよく目立ち、豊明市街の道路に出た際、そういったことが少なく感じるの、やはり市税でやっていただけだと嬉しく思います

また、危機ではなく、太い雑草や葉などが飛び出している際にも、自転車や原付オートバイがそれはとても困難を要します。自家用車でも細かいことではありますが、塗装が剥がれて修理する際、ただかかるためすれ違うことができない部分が多発しております。

●安全が第一ですが、緑や花があるのも豊明市のコンセプトに合っていると思います。

手入れ方法が簡単なものをプロに聞いたり、お年寄りの方々は、お花が好きな人が結構おられます。庭がなかったり、物価高でお花を買う楽しみを控えている方々もいます。余った花苗一つでももらえる時があれば嬉しいと思いますよ。
街路樹でなければならない場所なのか、そこも考えてもらいたいです。

●高木の管理については現状で問題無いと思います。

低木については、高すぎて見通しに影響が有るもの・低すぎて低すぎのもの・枯れて歯抜けのものなど有り管理が大変と思いますが、もう少し管理をして欲しいと思います。

街路樹から逸脱かもしれませんが、大蔵池の東側堤防道路は15m程の芝(雑草)を挟んで2本の歩道が有りますが、夏は日差しを遮るのが無くとても暑いです。この芝に樹木(夏場でも葉っぱの多い木)を植えて欲しいです。(小さな木でも10~20年もたてば立派になり、快適な日陰になる：待ちます)

●天候悪化や防災の観点から、古くなっている街路樹は、早めの撤去が良いと思います。

●季節の移り変わりを感ずることが出来る、とても大好きな道です。

目の前に住んでいるわけではないので、落葉の大変さを全て理解することはできませんが、大木、老木は植え替えしつつ、「豊明の景色」として今後残して欲しいです。

●街路樹ではないが、公共施設の敷地内に存在して、住宅地に倒木の際に影響のある位置にあるような大きな木の安全性も確認してほしい。

住宅から見て高い位置にあるため、倒木してこないか心配である。

落ち葉も全く処理されていない。

指定管理者の管理なのか、市の管理なのか不明である。